

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年5月13日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0871600185		
法人名	有限会社 かさま夢くらぶ		
事業所名	ケアホーム 夢くらぶ	ユニット名	1ユニット
所在地	〒305-1625 茨城県笠間市来栖2846-5		
自己評価作成日	平成27年11月15日	評価結果 市町村受理日	平成28年5月18日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/08/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kihon=true&JigyosyoCd=0871600185-00&PrefCd=08&VersionCd=022
-----------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成28年1月19日	評価機関 決済日	平成28年5月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

私共の施設では大きな畑があり今年もブルーベリーがたくさん収穫されました。とても肥えた土地なので大変甘くておいしくできあがりしました。利用者様と一緒にそのままいただいたり、またブルーベリージャムにしてヨーグルトにのせていただいたりして、楽しみました。新鮮な食材は皆を元気にしてくれます。また今年も笠間の菊まつりに 11月4日に利用者様と一緒に出かけました。「花燃ゆ」をテーマとしており菊が華やかにその時代を表現しており、利用者様も笑顔で鑑賞することができました。このように季節に応じて外出する機会を持ち、春には桜見物、夏には蓮の花見物、秋には紅葉見物など車椅子の利用者様も車窓から見られるように車椅子介助車で、歩ける方はワゴン車で職員と共に出かけて行きます。その日はお寿司を食べて帰ります。楽しみを持てるように工夫しております。いつも「健康は食にあり」をモットーに 野菜を豊富に使い毎日の献立 を工夫しております。 また毎日の暮らしぶりは自由に過ごしてもらいますが、カラオケが好きな方は ホールで歌って楽しんでいただいております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は木々に囲まれ、周辺には自家菜園や田んぼがあり、四季が何時でも感じられる自然環境に恵まれた場所に立地している。

調理師である社長の「健康は食から」という方針のもと、知り合いから購入した米や自家菜園で栽培した野菜を使用し、咀嚼や嚥下障害等、利用者の状態に合わせて刻みやミキサーにかける度合を変えるなど、食感も楽しめるように工夫して食事を提供している。

施設長が地元出身で、地域団体や友人等多くのネットワークを持ち、日本舞踊や大相撲の力士など、さまざまなボランティアを受け入れて交流している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員皆が理念を確認できる様に掲示し、常に意識しながら実践をおこなっている。	開設時に全職員で話し合い、「ご家族と地域との絆を大切に」など、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を作成して玄関や居間兼食堂に掲示している。 職員は2ヶ月毎の職員会議で理念を唱和し、共有して実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の小学校等の行事に参加したり近隣の方を招いて行事を行ったりして積極的に交流を行っている。	利用者と職員は毎年地域の小学校の運動会や秋祭りに招待され、運動会の応援や秋祭りの見学を通して交流している。 事業所は歌や日本舞踊、手のマッサージのボランティアを受け入れるとともに、お好み焼きパーティーに近隣住民を招待するなど、良好な関係づくりに努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症の講習会等には積極的に参加し、職員、皆で共有をして、家族の方や外部の方にも報告している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度運営推進会議を行い、近況報告や活動内容の報告を行い、意見交換をしている。	運営推進会議は市職員や民生委員、地域住民の代表、施設長、管理者が出席して2ヶ月に1回開催し、議事録を作成している。 会議では事業所の運営状況を報告するほか、台風18号による大雨災害を教訓に、「自分の身は自分で守る」という自主防災組織について市職員から説明を受け、災害に備えて事業所がすべきことなどを意見交換している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当者と連携をはかり、研修会等に積極的に参加したり、市主催のグループホーム見学会の会場となる等、良好な関係を築いている。	管理者は市の介護福祉課を随時訪問し、要介護更新申請の情報を得たり、空床情報を提供している。 事業所は笠間市主催のグループホーム見学会に会場を提供するなど、良好な関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全職員が正しく理解し、契約書にも身体拘束しないケアの同意書を組み入れている。	契約書に身体拘束をしないケアの実践について明記している。 身体拘束排除のための職員研修を開催するとともに、日々の支援の中で疑問が生じた場合は、その都度話し合いを行なっている。 やむを得ず身体拘束を行う場合に備え、「同意書」は作成しているが、「経過観察記録」や「再検討記録」を整備するまでには至っていない。	やむを得ず身体拘束を行う場合に備えて「経過観察記録」や「再検討記録」を整備することを期待する。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会にも積極的に参加し、常に声掛けをし合ったりして、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会にも積極的に参加するなど知識を得て行く。各々の必要とする者は、家族とも話し合っ取り入れて行くよう努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には、十分な説明を行い、疑問点がある場合には充分理解して契約してもらえるように配慮して努めている。	/	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関ホールに苦情・ご意見箱を設置し、意見や要望を引き出す努力をするとともに、運営推進委員会の際に家族や地域の民生委員の意見を反映して施設でのミーティングの時にその意見が質の向上につながるように話し合いを行う。	重要事項説明書に事業所と第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。 利用者からは日々のふれ合いを通じて、家族等からは面会時などに意見や要望を聴いている。 玄関に意見箱を設置しているが、利用されていない。 家族等の思いや要望を汲みあげるための取り組みを行うまでには至っていない。	家族等が意見や要望を出し易くなるよう、無記名のアンケートを実施することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングや、利用者ひとりひとりのカンファレンスを開催し職員の意見を聞き、質の向上に役立てるように取り組んでいる。	管理者は、職員が意見や要望を気軽に出せるような関係作りに努め、出た意見や提案は、2ヶ月毎の職員会議で話し合っている。 職員の提案を受け、使用済みのパッド類を新聞紙で包んでから処理することで消臭効果を上げるなど、職員意見を運営に反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の努力に目を向け実績を考慮して、処遇へ反映させることでやる気が起きるように努めている。	/	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の力量を把握し、段階に応じた研修、講習に積極的に参加してもらうように努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市の主催の介護関係の委員会に出席した際に交流を心がけている。積極的に参加してつながりを持つように努めている。ケアマネ会が発足して研修会など積極的に取り組んでいる。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時には、本人や家族から困っていることや不安な事を聞き、その要望に耳を傾けながら本人の安心を確保する為に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	利用者本人に向き合い、本人の声にしっかり耳を傾け、安心して暮らせるようにその人らしい生活が送れるように支援していく。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	どのようなことでも家族の声をしっかりと耳を傾け、思いを受け入れて、信頼関係が得られるように支援していく。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者との関わりを持つ中で一人一人の思いを理解、共有し、その方の望む生活になるように関係を築いていくように努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族がいつでも気軽に利用者に見えるように面会時間を作っていない。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	笠間で恒例の菊まつりを利用者様と共に見学している。利用者様の笑顔が見ることができ微笑ましく思う。その年の時代劇により趣が違うので利用者様は毎年楽しみにされています。また公園などに行き桜見学、秋には近隣に紅葉を見学している。	利用者の家族等や友人が来訪した際には、お茶や菓子で接待し、ゆっくり会話が楽しめるよう配慮している。 職員は利用者が以前利用していた地元の商業施設や、農産物直売所に一緒に出かけたり、家族等の協力を得て自宅へ外出や外泊、墓参りをするなど、馴染みの人や場所との関係が継続出来るように取り組んでいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の相性を考え日常生活のリクリエーション等は、職員が常に見守り援助をして声かけを心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	事情により退所された利用者は、ご家族様も気軽に相談できる関係を絶やさないように、施設発行の夢くらぶ通信を送付するなど行っている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人一人に寄り添った介護を行う為、利用者の行動や、会話から意向を把握して、職員同士で話し合い協議して、利用者の意向に添うよう努めている。	職員は利用者と日々の関わりの中から希望や思いを把握するとともに、得た情報を「申し送りノート」に記載して共有している。 思いを表せない利用者の場合は、話し方や表情、仕草などから思いを汲み取るように努めたり、家族等から話を聴くなど、利用者本位の支援をしている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族様から利用者本人の生活歴などを聞き取り、介護サービスが必要になった経過も聞き取り、施設で安心して暮らせるように努めている。	/		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人の状態を毎日観察し、尊重しながら職員も接していき職員同士で、情報交換して支援している。	/		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族の意向を聞き取り、職員は、利用者一人一人のカンファレンスを行いまた、ミーティングでは職員の要望などを聞きながら、調整して支援している。モニタリングも実施しながら介護計画を作成している。	介護計画は利用者や家族等の意向を取り入れるとともに、支援経過記録を基に課題を把握し、管理者と職員で話し合っ作成している。 3ヶ月毎にモニタリングを実施し、短期目標は3ヶ月、長期目標は6ヶ月に設定して1年毎に見直すとともに、利用者の心身の状態に変化が生じた場合は、随時現状に即した介護計画に見直しをしている。 介護計画は家族等へは来訪時などに説明し、同意を得ている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者一人一人の個別の記録をとり、毎日の生活の様子など把握し、変化があれば申し送りノートに記入することで、情報を職員同士で共有しより良いケアが出来るように努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	そのときどきの利用者や家族の希望に耳を傾け、それに対して職員は、柔軟に対応し、臨機応変に接していくように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日頃の利用者の体調や気持ちを考えながら、地域の行事に参加してもらい、利用者一人一人が楽しむことができるようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	訪問診療を利用したり、家族の意見も聞きながらその方の病状にあった、医療機関を受診してもらっている。その場合は職員も同行して行くこともある。また緊急の場合は施設と同意書を取り交わしている病院にも行けるようにも配慮している。	利用者や家族等の希望するかかりつけ医への受診は、家族等の付き添いを原則とし、家族等が付き添えない場合には職員が同行している。 受診結果は、家族等からは「申し送りノート」に記載して職員で共有し、職員からは電話などで家族等に報告している。 協力医療機関の医師による週1回の訪問診療で、利用者の健康管理を支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員、管理者で利用者の情報を共有し、看護師に相談して適切な看護、受診が受けられるように支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時サマリー、利用者情報などで情報交換し、その都度対応しながら、医療機関との連携を図っている。	/	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族様とは入所時に、契約書を取り交わす時に終末期に向けた施設の方針などを書面にて取り交わしている。また緊急時は、訪問診療など24時間体制で看護師も来てもらえる体制も整っている。	重度化した場合や終末期の対応方針を作成し、契約時に事業所で出来ること出来ないことを利用者や家族等に説明して同意を得ている。 事業所は看取りを行う方針であり、利用者が看取りの段階に入った場合には、段階的に家族等や協力医療機関の医師、ケア関係者と意向を確認しながら対応方針を共有し、安心して納得した最後が迎えられるよう支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	利用者の急変や事故が起きてしまった時に適切な対応ができるように応急処置の技術を看護師職員と意見交換して学んでいる。	/	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を年に2回は消防署員の協力のもと、消火器の使い方なども含めて実施している。また近隣の方にも参加してもらい実施している。スプリンクラーの設置もしている。	年2回防災訓練を近隣住民の参加を得て実施し、記録を残している。 災害に備え、米や飲料水、副食品を備蓄しているが、品名や数量、賞味期限等を記載して管理するまでには至っていない。	品名や数量、賞味期限等を明記した備蓄品リストを整備することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様は人生の先輩であり私たちの将来の姿と考え常に尊敬を心に持って接していく様に努めている。	職員は研修会で利用者のプライバシーや人格の尊重について確認し、利用者一人ひとりを人生の先輩として敬い、人格を尊重するとともに、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。 個人情報に関する書類は、事務室の施錠ができる書棚に保管し、情報漏洩に留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者一人一人の思いをくみ取り、願いに耳を傾け自己決定、自己満足できるように日々心くばりをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人一人の能力とペースを重視して個々の希望に配慮しながら生活支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	利用者様一人一人の個性、希望に応じて望む髪型、服装等が得られるように家族の協力の基に支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様と共に近くの直売所に買い物に出かけたり、外食に出かけたりと楽しみをもつように、工夫している。また、その方によっては、脂っこいもの、生ものなど避けなければならないなど配慮している。刻み食の方も配慮してミキサーにかけるだけでなく食感も感じるように工夫している。	職員は利用者と同じ食卓を囲みながら、食事介助や見守りをしながら一緒に同じ食事をしている。 誕生会等ではロールケーキや混ぜご飯、稲荷ずしなどの特別食を提供するほか、自家菜園で収穫したブルーベリージャムのパン食や外出時には、回転ずしやラーメン店に立ち寄るなど、食事を楽しめるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者様の毎日のカロリー、水分摂取量の記録をとり、健康で快適な生活が長く送れるように細心の注意をはらっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケア、就寝前の口腔ケアは、利用者一人一人にチェックする。また歯ブラシ等にも磨き方にも注意を払っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄のパターン習慣を生かし、トイレでの排泄、ベッドでのパットなどの交換を定時に行って支援している。	利用者毎に排泄記録を作成して排泄リズムを把握するとともに、適切にトイレ誘導をすることで、排泄の自立を促すよう支援している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	間食にヨーグルトやゼリーなど、食事では、野菜などを多く取り入れ、果物なども積極的に取り入れ、便秘解消になるように工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者は週3回は入浴できるようにしている。また車椅子の利用者の入浴も入浴用椅子に移動介助して気持ち良く入浴できるように心がけ支援している。	入浴は週3回午前中の時間帯を基本とし、車いすの利用者も入浴が楽しめるように福祉用具を用意したり、利用者の体調に合わせて清拭に変更するなど、個々に応じた入浴支援を行っている。 入浴を拒む利用者には、時間帯を変えたり、声かけの仕方を変えるなど、無理のないように促している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人の生活習慣や、そのときどきの状況に応じて睡眠がとれるよう生活リズムを整える支援をして、安心して気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者一人一人のお薬ノート、受診報告書を記帳し、用法、用量、副作用の出現や体調の変化に対応出来るように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者一人一人の出来ること、やりたい事を把握して能力にあったお手伝いをしてもらうよう支援している。またパズルやゲームなどをして達成感や楽しみを感じてもらえる支援を心がけている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年間の行事予定に応じて春はお花見、夏は蓮の花見物、秋は紅葉見物、菊まつり、またその時々ドライブなど計画して外出している。車椅子の利用者は車椅子対応の介助車両に乗り外出している。天気の良い日は利用者と職員と一緒に施設周辺を散歩して、季節感を感じるよう支援している。	天気の良い日には、利用者は職員と一緒に事業所の周辺を散歩して外気浴を楽しんでいる。 年間行事計画に基づいて、桜川市磯部の桜の花見や市内の紅葉狩り、菊祭り、市外のドライブなどに出かけている。 車いすの利用者も、リフト車で外出を楽しめるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理はほとんどの方は家族にお願いしているが事情により施設で管理を頼まれた場合のみ預かっている。その都度金銭管理帳につけている。職員が付き添って利用者がお金を持って買い物をするときもある。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者が家族に電話をしたいと訴えの会った時は、職員が支援して家族に電話をかけ、本人に渡している。本人の希望をできるだけ生かせるように支援している。また手紙なども出来るだけ本人に書いてもらえるよう支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、廊下、居室、また共用のホールには、観葉植物、花の鉢植えなどを置いて季節感を出し、心をなごませています。またトイレなど朝、夕と掃除をして清潔感を保っている。	玄関や談話室、廊下、居間には観葉植物や季節の花を飾り、食堂の壁面には、ボランティア活動の写真や敬老会の写真などを掲示している。 浴室の脱衣場にはエアコンとヒーターを備え、安心して入浴を楽しめる場所となっている。 居間にはベッドやソファを配置し、利用者が洗濯物たたみをしたり、談笑の場となっているほか、テレビやカラオケを楽しめる空間にもなっている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者一人一人の席を決めてソファに座ってもらい、思い思い過ごせるようにしている。利用者の相性などを考え工夫している。	/		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、本人の使い慣れたベッド、タンス、机、マッサージ機、また写真を飾ったり、思い出の品物など置いて昔を思い出せるように工夫している。			居室にはベッドやエアコン、整理箆筒、時計が備えつけられている。 利用者は布団や箆筒、枕、電気毛布等自宅で使い慣れた物や、位牌や家族の写真等の思い出の品を自由に持ち込み、自宅と同様に居心地よく暮らせる場所となっている。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	施設内の廊下には、手すりが有り、自立歩行、また歩行訓練などに利用し、転倒予防などにも役立ちます。玄関にも手すりが有り利用者様に役立っています。			/

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように ○ 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている ○ 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が ○ 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が ○ 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が ○ 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目標達成計画

事業所名 ケアホーム夢くらぶ

作成日 平成28年5月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	5	身体拘束をしないケアの実践について、やむを得ず身体拘束を行う場合に経過観察記録や再検討記録を整備することを期待する	やむを得ず身体拘束を行う場合に経過観察記録を執るまた再検討記録を執る	利用者が身体拘束を行った場合ご家族の了解を得てノートを作り経過観察記録を作成して定期的に再検討記録を記帳する	H28,5 ～ H29,5
2	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映では家族等が意見を出し易くなるよう、無記名のアンケートを実施することを期待する	運営に関する利用者、家族等が意見を出し易くなるよう請求書を出す時にアンケート用紙を同封して来所時意見箱に入れてもらう	毎月の施設の請求書の際、または利用者の面会時無記名のアンケートを意見箱に入れてもらうよう整備する	H28,5 ～ H29,5
3	13	災害対策として備蓄しているものの品数や数量、賞味期限等を明記した備蓄品リストを整備する	災害に備え、米、飲料水など品名、数量、賞味期限等を明記した備蓄品リストを作成する	災害に備え備蓄品のリストのノートを作成し、定期的に見直す。	H28,5 ～ H29,5
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。